

この二週間、まるで、ヨブの苦しみを味わいました。我が家の猫、パフは毛が長く、いつも毛玉を一ヶ月に一度くらい吐いていました。



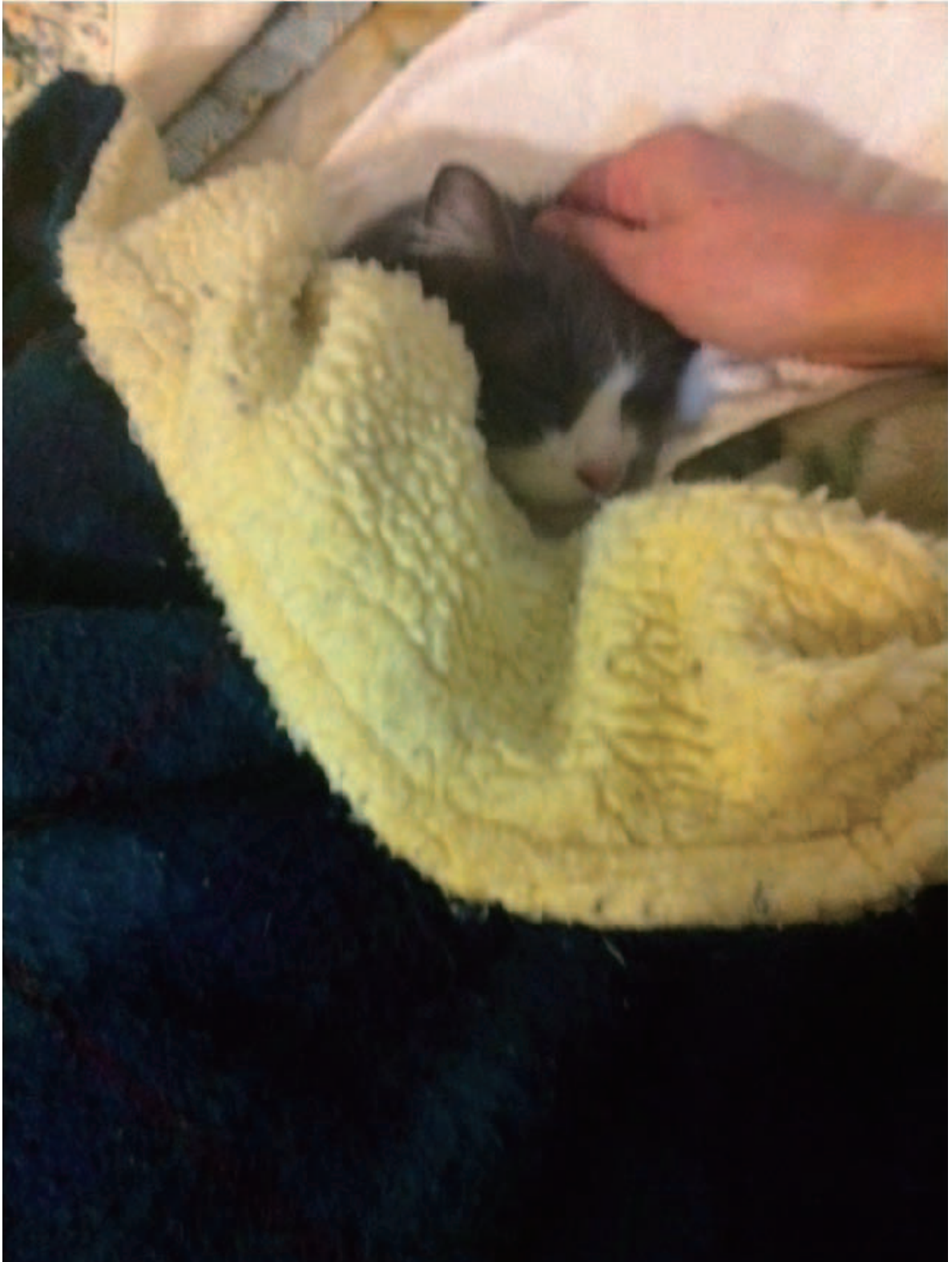
猫をご存知のない方に説明いたしますと、猫はセルフクリーニングの動物です。自分で自分の身体を舐めてきれいにします。長い毛の猫はその時に一緒に身体の中に入ってしまう毛がたまって、時々吐いて出します。







家に帰ると、まだまだ苦しそうです。でも一晩たつと、ようやく痛みがおさまってきたのか、寝ることができるようになりました。



でも食欲はまったくありません。パフが好きなのは、アスパラガスです。アスパラを茹でました。むしゃむしゃ食べだした時の、私と夫の喜びは何にもかえがたいものでした。

2、3日アスパラしか食べませんでした。自分で水を飲むようになり、今日になってネコ餌を食べだしたのです。また顔を舐めて毛繕いをし始めました。



蘇りです。

多くの方々にお祈りをお願いし、また私たちもどんなに癒しを祈ったことでしょう。命が救われるということは猫でもこの喜びです。ましてや、人の命が救われるという事の喜びはかけがえのないものだということをひしひしと感じた2週間でした。

天におられる主なる神様は私たちがこの猫の命を案じた以上に 私たち一人一人の永遠の命を考えて痛みをおぼえていてくださるのでしょうか。

「神はその独り子をお与えになったほどに、世を愛された。

独り子を信じる者が一人も滅びないで、

永遠の命を得るためである。

ヨハネ 3-16」

竹下弘美



折尾クリスチャンチャーチ

住所 〒807-0873

福岡県北九州市八幡西区藤原 2-12-6

電話&FAX 093-692-9200 (9:00~13:00)

メール oriochurch@outlook.jp